

## 被災地支援のために岩手県遠野市に職員を派遣しました



東日本大震災の支援拠点のある岩手県遠野市に、4月5日から16日まで、市職員28人（女性2人を含む）を派遣しました。

現地では、遠野市社会福祉協議会が運営するボランティアセンターに登録し、津波により町役場も倒壊した大槌町において、被災したが居住が可能な家屋の清掃や廃棄物の処理にあたりました。

第1日目に活動した場所は、海から約2キロ程度山側に入った桜木町地域で、津波が人の背丈くらいまで押し寄せ、使用できなくなった布団や家具のほか、家電製品が道路わきに高く積まれており、土埃（つちぼこり）が巻き上がる中での作業でした。

また、救援物資として、下着、乾電池、ゴミ袋のほか、市民の皆さんから味の素スタジアム内の避難所に届けられた歯ブラシなどの日用品を搬送しました。